

平成29年10月24日

地域経済産業調査（平成29年7-9月期）結果

全体の動向

今期（7-9月期）の近畿経済は、緩やかに改善している。

生産は、はん用・生産用・業務用機械、電気機械、電子部品・デバイスを中心に横ばいながら高水準で推移しており、生産ラインをフル稼働しても受注に追いつかないといった声が多く聞かれる。

設備投資は、製造業では、設備の維持・更新を中心に、一部では市場の需要増に応えるため、生産能力の増強投資が行われている。また、人手不足を補うための自動化や研究開発への投資がみられる。非製造業では、倉庫を始めとする物流施設への投資や、小売業で需要拡大のための新規出店や店舗改装がみられる。

雇用情勢は、人手不足が続いている。小売業やサービス業を中心にパート・アルバイトの確保が困難であり、時給アップ、短時間勤務の導入、省力化・自動化の推進等で対応している。また、製造業を中心に技術者や有資格者が集まりにくいとの声が多く聞かれる。

個人消費は、百貨店は、円安株高の効果もあり免税品や高額品の売上が好調。スーパーは、他業態との競争から客数の減少が続いているが、惣菜等が好調で客単価は上昇傾向。コンビニは引き続き好調。家電は、高機能・高単価の白物家電に加え、新型ゲーム機等が好調。乗用車は、軽自動車の新型車効果等により前年を上回っている。

個別の動向

- （１）生産：横ばい傾向
- （２）設備投資：緩やかに増加している
- （３）雇用情勢：改善している
- （４）個人消費：緩やかに改善している

これまでの基調判断の推移

	平成28年7 - 9月	平成28年10 - 12月	平成29年1 - 3月	平成29年4 - 6月	平成29年7 - 9月
全国	→	↗	→	→	→
	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している
近畿	→	↗	→	→	→
	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している

（参考）今回、本調査の対象機関（99）、実施期間（平成29年9月1日～9月27日）

（本件のお問い合わせ先）
近畿経済産業局総務企画部調査課長 西山
担当：山口、加藤 電話：06-6966-6004

生産 ~横ばい傾向~

はん用・生産用・業務用機械は、自動立体倉庫装置やフラットパネル・ディスプレイ製造装置等が高水準で推移。電気機械は、車載用リチウムイオン蓄電池やエアコン等が堅調。電子部品・デバイスも堅調に推移している。化学は、化粧品が好調。総じて生産は高水準で推移しており、生産ラインをフル稼働しても受注に追いつかないといった声が多く聞かれる。

【企業の生の声】

受注残を含めた発注対応で、フル稼働でも追いつかない状態。こうした状況があと1年ぐらいは続くと見込む。【業務用機械器具】

主力のフラットパネル・ディスプレイ製造装置の好調が続いており、フル稼働状態。

【生産用機械器具】(中小)

新型スマートフォン向けに投資が動いており、半導体製造装置等が伸びている。

【生産用機械器具】

車載用の蓄電池は、米国向けが好調。【電気機器】

国内家電は引き続き好調。特に、エアコン等の高価格帯商品が好調である。

【電気機器】

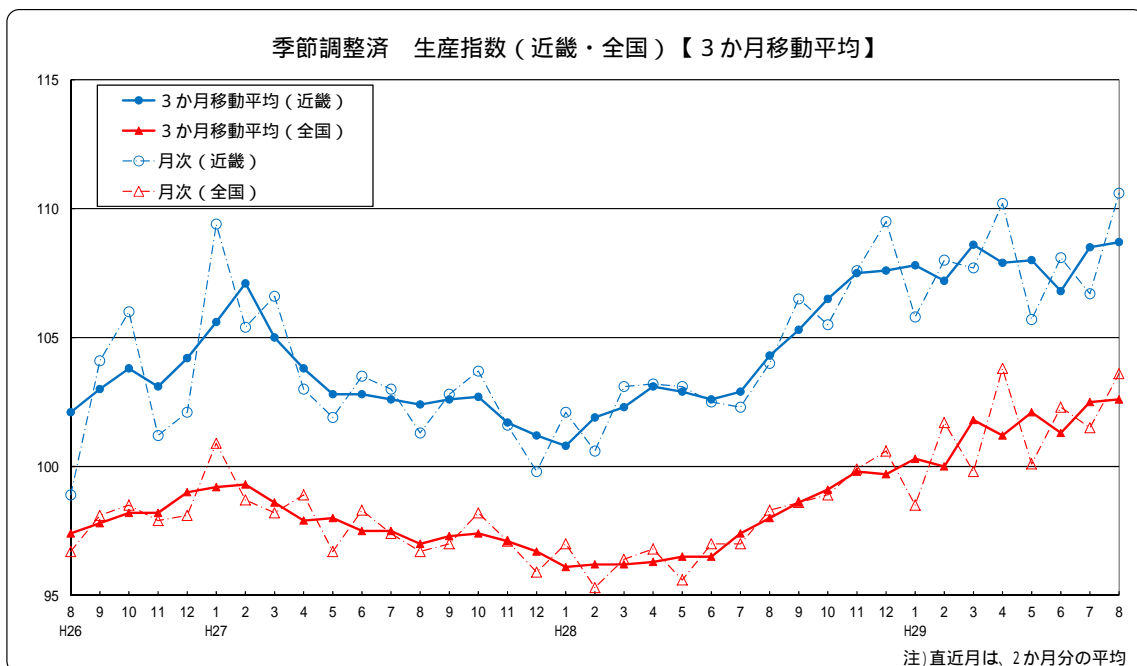
化粧品製造は増加基調にあり、生産はフル稼働が続いている。休日出勤や残業で対応している。【化学】

全体的に生産量は高水準で推移している。スマートフォン需要の端境期のため通信向けはやや低調。【電子部品・デバイス】

自動車用素材は好調であるが、市況低迷が続く衣料品は横ばいから微減。

【繊維工業】

各種工作機械について、国内は順調であるものの、海外向けが不振。自動車関連の需要が伸び悩んだ。【生産用機械器具】



(注) 近畿・全国：平成22年基準(平成22年=100)

データ出所：近畿経済産業局「近畿地域鉱工業生産動向」

設備投資 ~ 緩やかに増加している ~

製造業では、設備の維持・更新を中心に、一部では市場の需要増に応えるため、生産能力の増強投資が行われている。また、人手不足を補うための自動化や研究開発への投資がみられる。非製造業では、倉庫を始めとする物流施設への投資や、小売業で需要拡大のための新規出店や店舗改装がみられる。

【企業の生の声】

今後の需要増を見込み、本社工場敷地内に新たな工場を建設するなど、競争力向上に向けた投資を実施。【鉄鋼】

国内の生産設備増強のため、投資計画を前倒しで実施。【電気機器】

半導体製造装置、スマートフォン、自動車向け部品等に重点化する。

【電子部品・デバイス】

IT、IoT技術導入のための投資が増える見込み。今後、研究開発にはかなり力を入れていくつもり。【生産用機械器具】

生産性向上を目的とした設備投資を計画しており、29年度は自動印刷裁断機を購入する予定。【繊維工業】(中小)

検査用ロボットの導入を検討している。【輸送用機械器具】(中小)

中小型の倉庫を大型倉庫に再編する。また、省人化設備を増やすことでコストカットと作業効率アップを期待。【道路貨物運送業】

別々のフロアにあった厨房、レストランを1階に移してビュッフェスタイルに変えることにより、サービス系の省人化を実現。【宿泊業】(中小)

28年度は新設の大きな設備があったため、前年度に比べると29年度は減少する。設備更新が主となっている。【化学】

前年度とほぼ同水準。既存店の改装には、ほぼ新店を作るぐらいの金額をかけている。イトインや惣菜の需要拡大が見込めるため売場を強化していく。

【各種小売業】

全国企業短期経済観測調査

(前年度(前年同期)比:%)

	近 畿						全 国					
	平成28年度			平成29年度(計画)			平成28年度			平成29年度(計画)		
	上期	下期	下期(計画)	上期(見込み)	下期(計画)	上期	下期	下期(計画)	上期(見込み)	下期(計画)		
全産業	2.1	2.4	5.7	5.1	17.5	3.9	0.4	1.2	0.2	4.6	7.5	2.4
製造業	7.6	3.4	11.2	12.8	19.8	7.2	2.6	5.1	0.6	11.7	17.2	7.3
大企業	9.7	3.7	15.0	11.6	19.1	5.5	4.3	5.0	3.7	14.1	19.1	10.0
中堅企業	4.0	3.3	4.6	31.7	43.7	23.0	6.3	1.0	10.6	13.2	24.3	5.1
中小企業	11.2	13.0	26.1	0.4	14.7	13.2	6.7	9.8	17.1	0.9	3.4	1.2
非製造業	1.5	6.6	2.3	0.5	15.7	11.3	0.7	0.9	0.6	0.8	2.2	0.2
大企業	4.0	11.2	1.4	1.5	13.3	11.1	5.4	4.1	6.4	4.0	4.5	3.7
中堅企業	25.3	32.8	20.4	9.7	38.2	10.9	3.1	1.2	6.2	19.6	8.3	28.5
中小企業	16.3	2.0	30.2	15.0	10.6	19.8	16.3	6.9	24.9	19.9	7.8	29.3

データ出所: 日本銀行(含む 土地投資額)

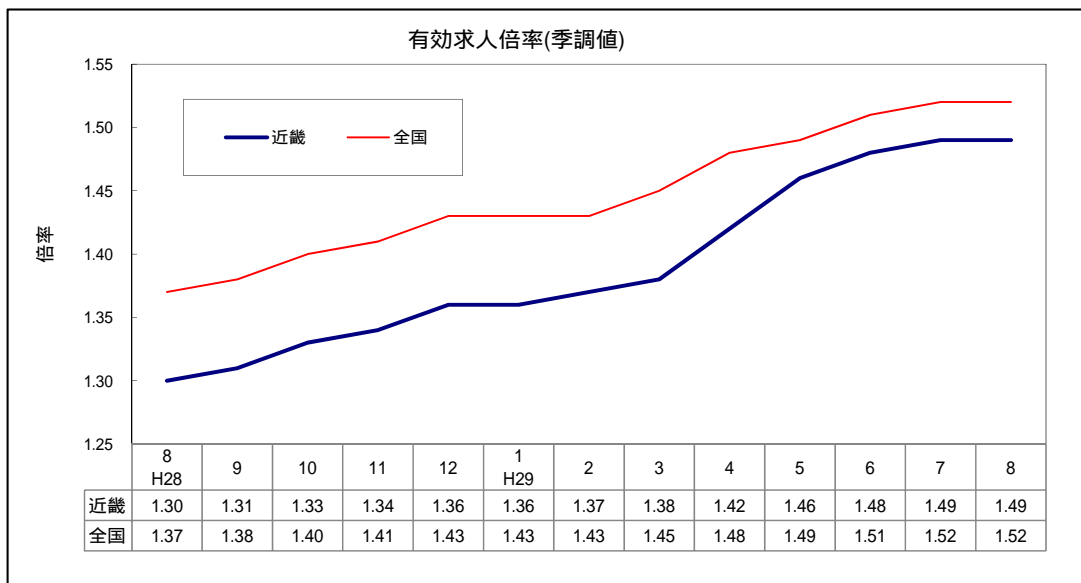
(大企業: 資本金10億円以上、中堅企業: 同1億円~10億円未満、中小企業: 同2千万円~1億円未満) 平成29年10月2日公表

雇用情勢 ~改善している~

人手不足が続いている。小売業やサービス業を中心にパート・アルバイトの確保が困難であり、時給アップ、短時間勤務の導入、省力化・自動化の推進等に対応している。また、製造業を中心に技術者や有資格者が集まりにくいとの声が多く聞かれる。新規採用は、例年並みの採用者数を継続する意向が強いが、内定辞退など採用難の声も聞かれる。働き方改革は、残業抑制、休暇取得促進等の取り組みがみられる。

【企業の生の声】

- ・正社員、パートともに確保が厳しい。パートの時給は上昇傾向であり、1000円を超えているところもある。【各種小売業】
- ・パート・アルバイトの採用は引き続き厳しい。駅近くに新ホテルもオープンしており、そちらに取られる。【宿泊業】
- ・人材不足に拍車がかかっている。採用拡大のため、週1~2日、1日1~2時間といった募集もしている。【各種小売業】
- ・セミセルフレジの導入や電子マネーの利用拡大を進めている。【各種小売業】
- ・技術系の学生は売り手市場で優秀な学生を確保するのが難しく、リクルート活動に注力している。【鉄鋼】
- ・設計技師が欲しくハローワークに募集をかけているが、良い人材が採れない。
【生産用機械器具】(中小)
- ・新規採用は例年どおり。景気に左右されることなく一定数をコンスタントに採用している。【総合工事業】
- ・内定辞退者が非常に増えており、今回も50名以上に内定を出したが、6割程度の受諾。【繊維工業】
- ・月1回「スーパー定時退社デー」を設け、見回り確認も行っている。
【生産用機械器具】
- ・繁忙期は隔週土曜日を勤務日とし、それ以外は土日休みとしている。
【繊維工業】(中小)



データ出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」

個人消費 ～緩やかに改善している～

百貨店は、円安株高の効果もあり免税品や高額品の売上が好調に推移。スーパーは、他業態との競争から客数の減少が続いているものの、惣菜等が好調で客単価は上昇傾向。コンビニは引き続き好調。家電は、高機能・高単価の白物家電に加え、新型ゲーム機等が好調。乗用車は、軽自動車の新型車効果等により前年を上回っている。インバウンド消費は、百貨店を中心に当面好調を維持するとの声が聞かれる。

【企業の生の声】

株高による資産効果の影響もあり、特選ブランドや時計など高額品の動きが良い。

【各種小売業】

インバウンド売上は、件数、金額ともに前年を上回っている。化粧品を中心に、時計・特選衣料雑貨・ハンドバッグの他、アクセサリ・婦人肌着も伸長。

【各種小売業】

カウンターコーヒーなどのFF商材は引き続き好調。チキンや焼き鳥などの揚げ物商材も、働く女性が惣菜として買っていく。【各種小売業】

利益率は少ないが回転率の高い食品で店舗に足を運んでもらい、医薬品の購入で利益を確保。インバウンドは、引き続き化粧品が好調。【各種小売業】

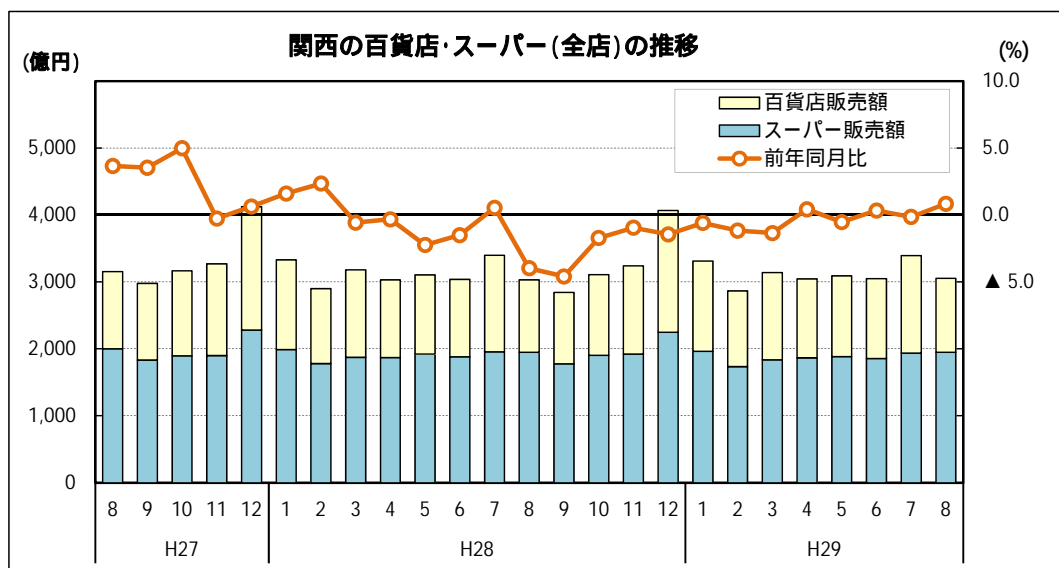
今期はエアコン、冷蔵庫、洗濯機に加え、新型ゲーム機が好調。冷蔵庫や洗濯機は高単価なガラスパネル機種の人気が続いている。【機械器具小売業】

知名度の高い車種の新型車の売行きが好調。高性能で高額な車も売れているが、高齢者には安価な車も好まれている。【その他事業サービス業】

イベントと園内のアトラクションを掛け合わせた企画が奏功し客単価が上昇。また、今夏は天候が良かったため、プールへの集客が好調であった。【娯楽業】（中小）ドラッグストアなどの競合店が増えていることもあり、客数は減少しているが、惣菜売場の改装効果等により、買上点数が増加し客単価も上昇している。

【各種小売業】

国内旅行は全体として大きな変化はなし。9月のシルバーウィークの日並びがあまり良くない。海外も同様で大きな変化なし。【生活関連サービス業】



データ出所：近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」